

中学校部活動の地域移行に関する
文化関係団体への
アンケート結果（速報値）

実施時期

令和5年7月27日（木）～8月4日（金）

実施対象

- 実施対象（18団体）
- ・吹奏楽団体（1団体）
 - ・合唱団体（1団体）
 - ・書道団体（1団体）
 - ・茶道団体（5団体）
 - ・華道団体（9団体）
 - ・手芸団体（1団体）

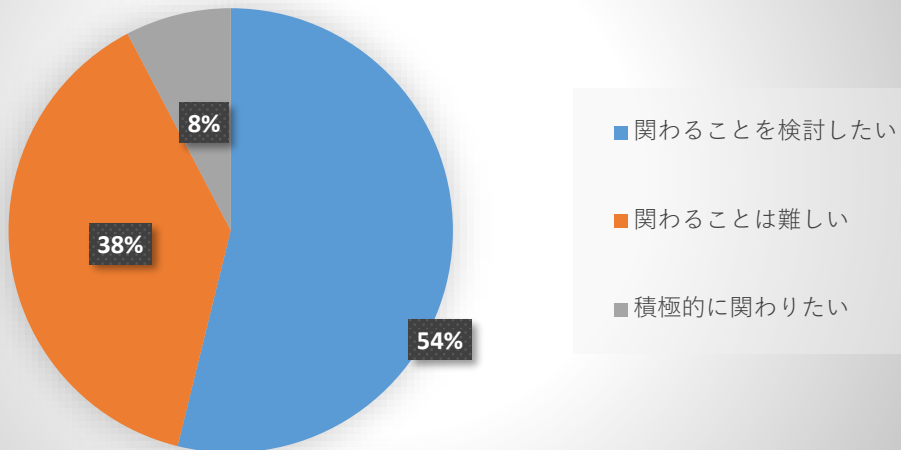
実施方法

郵送による書面アンケート

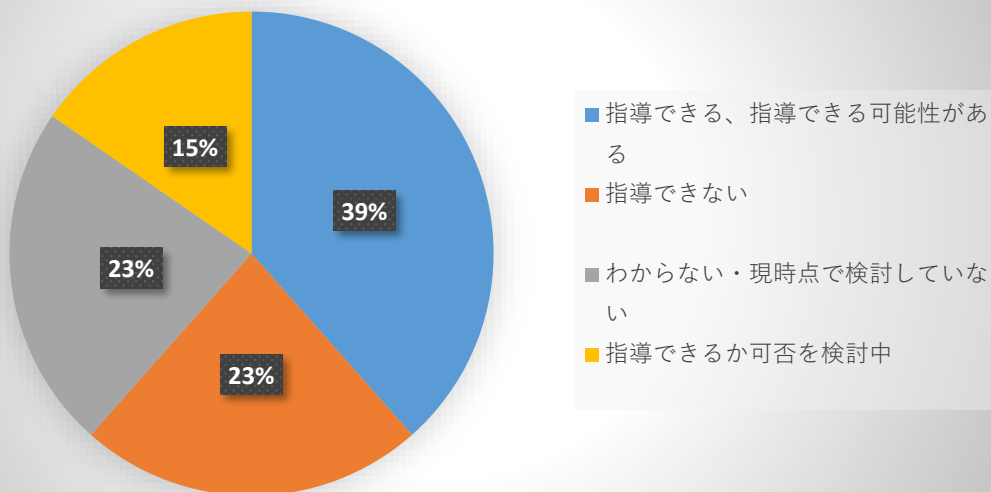
回答数 (回答率)

- 回答状況
(18団体中13団体回答：回答率72%)
- ・吹奏楽団体（1団体）
 - ・合唱団体（1団体）
 - ・書道団体（1団体）
 - ・茶道団体（3団体）
 - ・華道団体（6団体）
 - ・手芸団体（1団体）

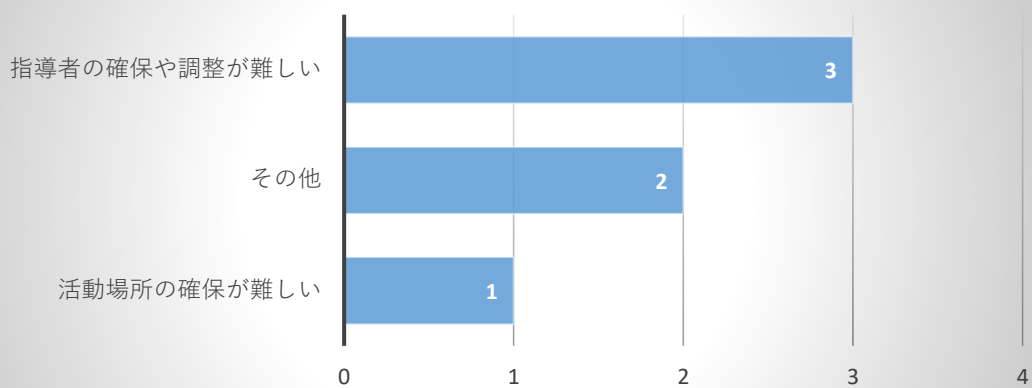
部活動が学校から地域等に移行することについて、
どう受け止めているか



指導者として中学生の活動を指導できるか



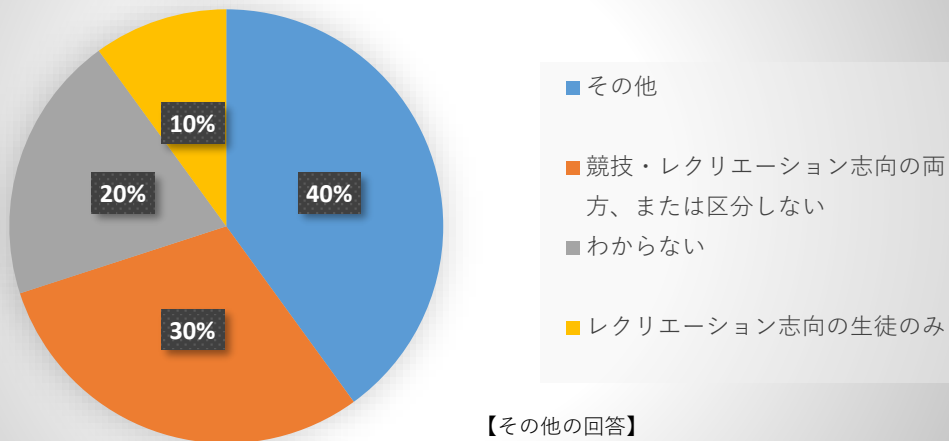
指導できない理由（3つまで選択）



【その他の回答】

・使用する道具の運搬が大変だから（茶道団体）

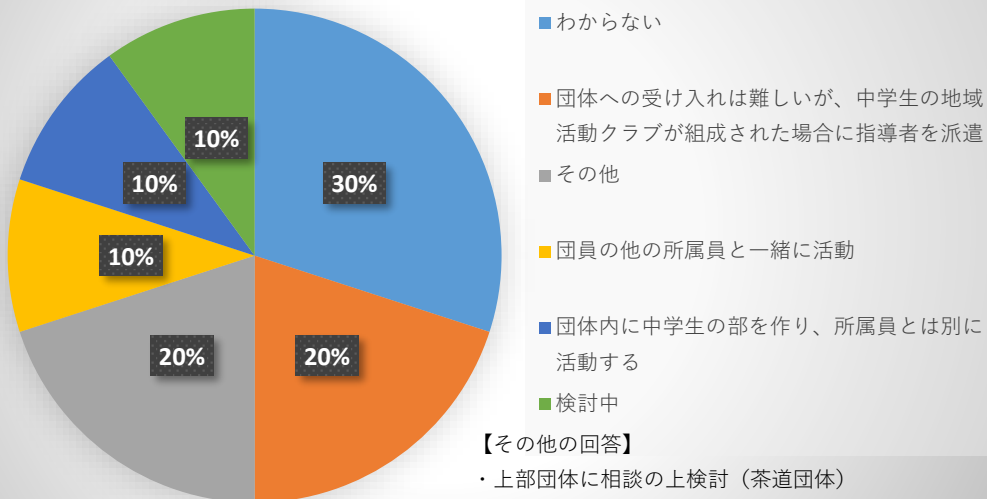
指導する場合の指導対象



【その他の回答】

・生徒次第、指導日数や人数次第など

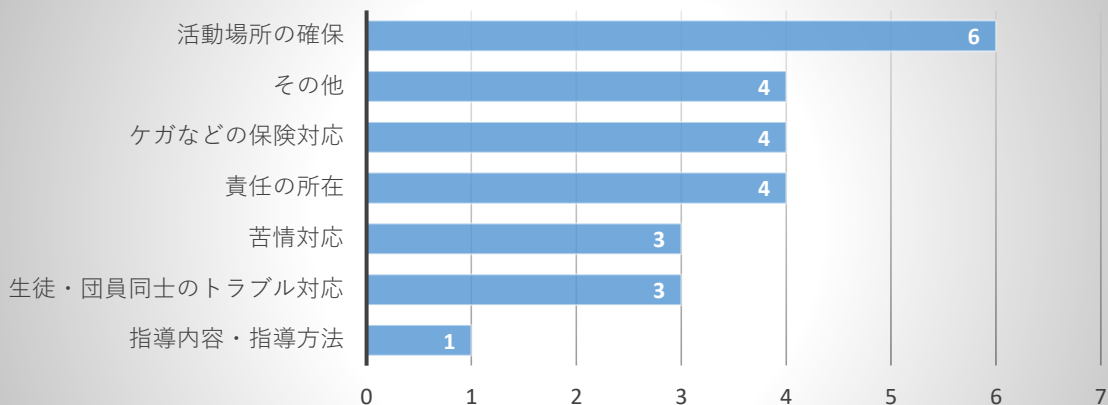
中学生を指導する場合の活動方法



【その他の回答】

・上部団体に相談の上検討（茶道団体）
・どの活動方法も可能、要望に応じる（合唱団体）

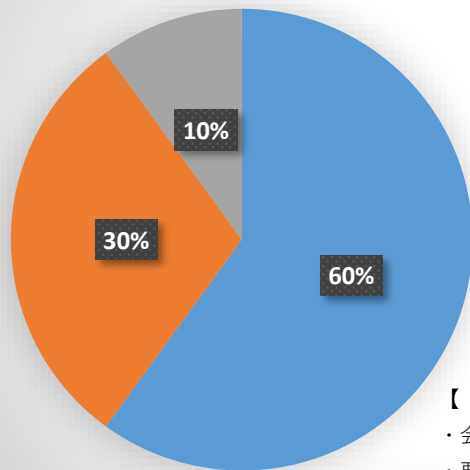
中学生を指導する場合、心配と思われること（複数回答可）



【その他の回答】

・楽器の維持管理・購入
・花材代の費用負担 など

中学生を指導する場合の受け入れ可能人数

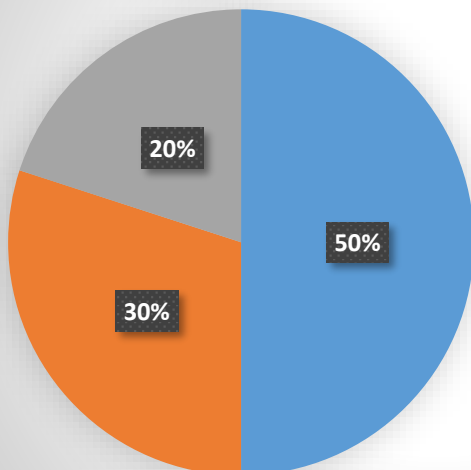


- わからない
- 10人程度（各学年2～3人）
- 30人以上（各学年10人以上）

【「わからない」の理由】

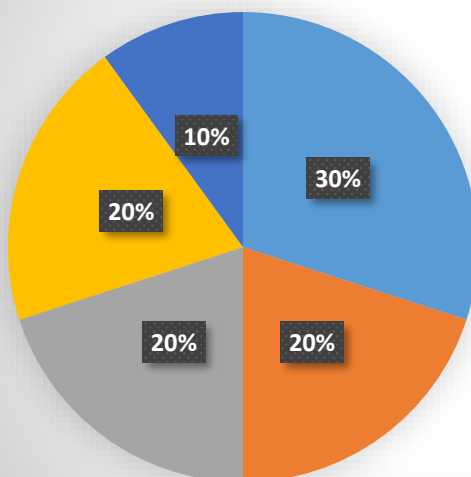
- ・会場や指導内容にもよる、指導者によって変わる
- ・要望に応じて対応する など

中学生を指導する場合の活動日



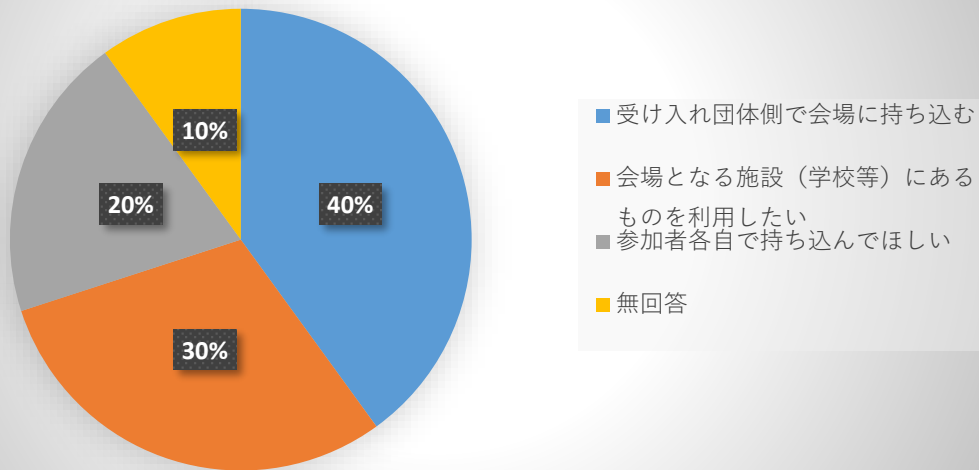
- 平日・土日どちらもできる
- わからない・現時点で検討していない
- できるかどうかの可否を検討中

中学生を指導する場合の活動地域と活動場所

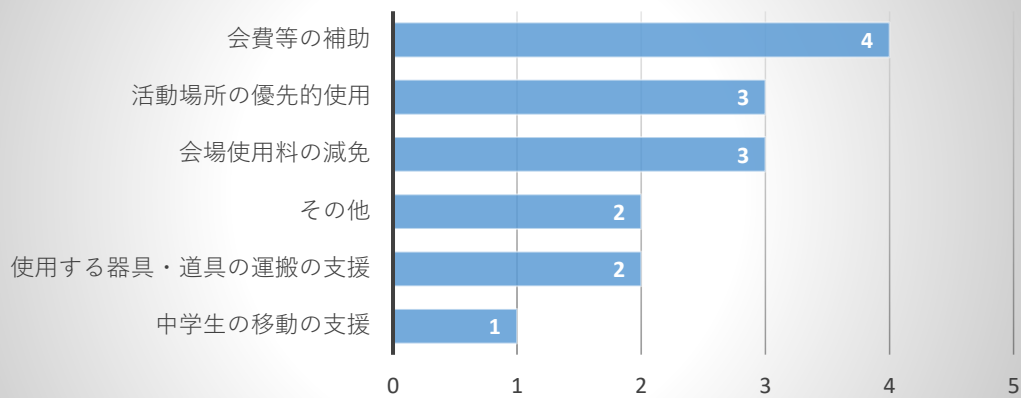


- 学校を使用できるなら市内全域で活動可能
- 学校を活動場所とはせず、市内全域で活動可能
- 学校を活動場所とはせず、特定の地域で活動可能
- わからない
- 学校を使用できるなら特定の地域で活動可能

使用する器具・道具の会場への運搬



中学生を指導する場合、あるとよい市の支援



※一つ選択としていましたが、複数回答があったことから、全ての回答を集計に含めています。

【その他の回答】
・書籍の用意（書道団体）

【その他、意見等】

- ・ 日本文化の一つではあるけど、今だんだん人数（茶道人員）も減ってきているので、場所（和室）、道具（多少でも）があれば、市内に会員がいるので指導にはいけるようにはできる。（茶道団体）
- ・ 生け花をしたい生徒なら指導いたします。週1回または、月2～3回で考えています（地域ごとに）。（華道団体）
- ・ もう少し内容が具体的になってくれば、当団体内の会員とも話し合いをして、何らかの形で協力していければと考えています。文化・芸術を若い方にもっと興味・関心を持ってもらえる良いきっかけになるのではと思っています。（華道団体）
- ・ 小学生の時は命の大切さを花を通して、中学生になれば命の大切さプラス華道としての精神性や技術力を身につけていきます。そのため、資格（お免状）を取得して自信をつけていきます。（華道団体）
- ・ 文化系の生徒であれば、地域のセンターで行われている活動への支援をしてほしい。（茶道団体）
- ・ 書道は個人的に習っている生徒が多いので、部活動で別の先生に習いたいと思っている生徒がどのくらいいるのかと感じます。（書道団体）
- ・ 具体化すれば、その都度対応する。（華道団体）
- ・ 学校から完全に切り離して、地域で「塾」を立ち上げ、一日も早く実態を作って活動を開始することが重要。「塾」のスタイルでないと、様々な責任追及は免れない。補助金があるならば、「塾」月謝への補助を。本当に、部活動が突然廃止されたときを想定した動きをつくるのが、私たちの役割ではないか。（吹奏楽団体）